



安城南西部地域（産業拠点）

産業軸である国道23号周辺に立地する工業地を中心とした市街地における一団の住宅地、集落周辺や都市機能が立地しています。今後もこうした区域で都市機能の立地や人口が維持されるものと考えられる地域です。

大規模既存集落を中心に今後割合が増加するであろう高齢世代の暮らしやすさが維持されるよう、都市機能の集積する拠点へのアクセス性を考慮しつつ、集落周辺に立地する都市機能の立地を維持するとともに当該地への人口の適正な集積を維持していく必要があります。

(1) 20年、30年後を見据えた、居住・都市機能の立地方針

地域の集落居住の立地（誘導）方針

- ・優良な農地を保全する大規模既存集落での居住を維持されるよう誘導します。

地域の集落都市機能の立地（誘導）方針

- ・都市機能を集積する市街地へのアクセスを要するため、大規模既存集落周辺に立地する都市機能の維持・活用されるよう誘導します。

維持・確保すべきマチナカ都市機能の方針

- ・大規模既存集落での居住を維持するため、周辺の都市機能を維持・活用するほか、都市機能の集積する拠点へのアクセスを可能とする公共交通の維持に努めます。

(2) これから10年の視点にたった、地域の基本目標

- 都市構造** 地域を支える集落等における、都市機能の集積する市街地へのアクセス性に配慮した生活利便性が確保される地域づくり
- 都市運営** 居住が集積する集落における、地域住民とともに育む持続可能な地域づくり
- 都市活力** 優良企業が立地する工業地や地域に広がる優良農地を中心とした、活力と活気で賑わいあふれる地域づくり
- 都市生活** 集落において自分らしい暮らしを確保した安全・安心に暮らせる地域づくり
- 都市環境** 地域全体に広がる農地等が保全され心地よく生活できる、人と自然が共生する地域づくり

(3) これから10年の視点にたった、地域の基本目標を達成するための方針

土地利用の形成など、地域における「都市の骨格をつくる方針」

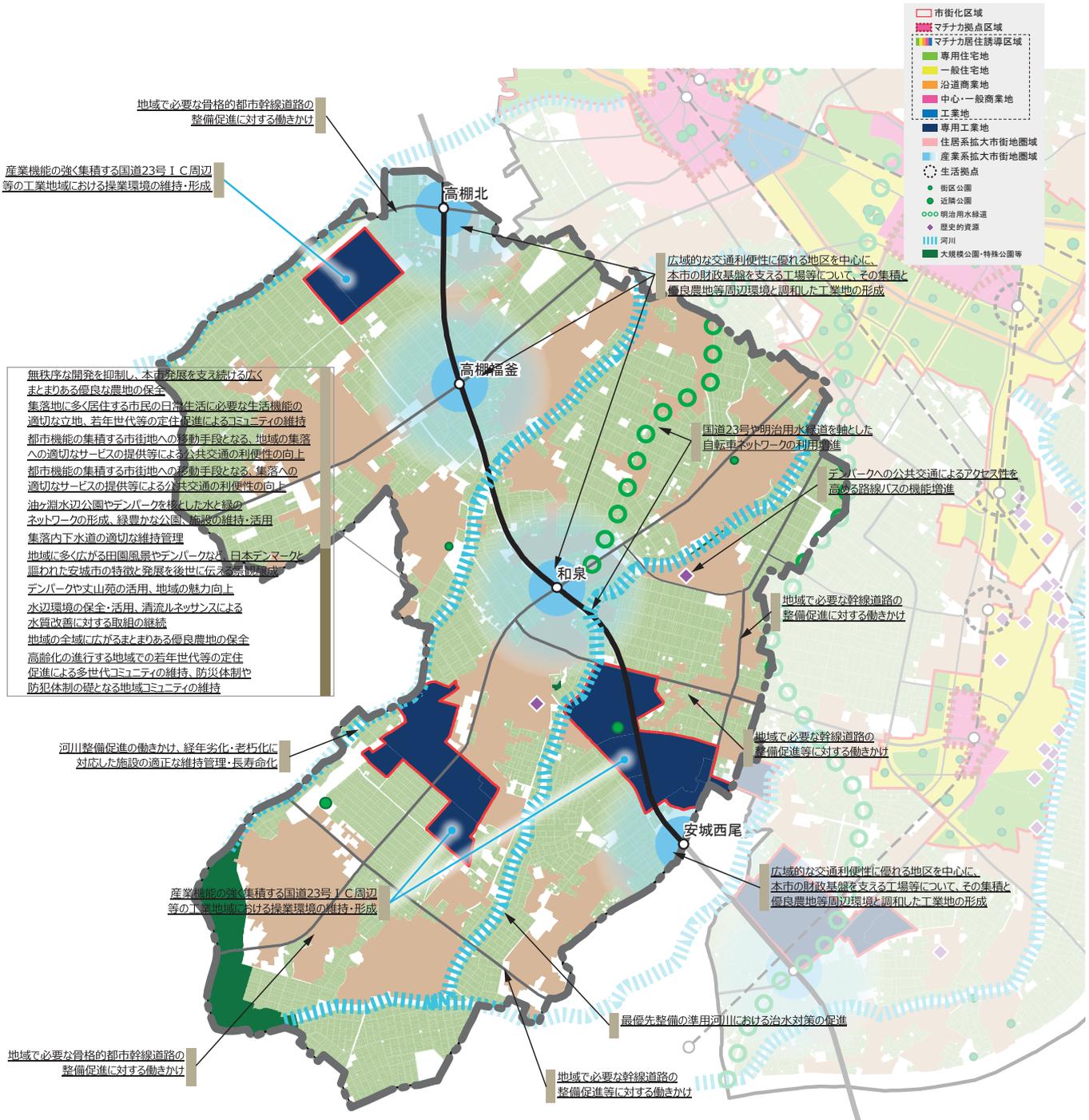
本市の工業都市、日本デンマークとしての農業を支える地域として、集落への居住集積や国道23号沿線への工業集積をもたらす土地利用の展開とともに、都市機能が集積する市街地や本市を支える工業地への移動に対する利便性や集落等の生活環境を保全する都市基盤の形成を図ります。

土地利用、交通体系(公共交通、道路)、都市施設(公園・緑地、下水道・河川)、市街地

景観の醸成など、地域における「快適な暮らしを支える方針」

地域全体に広がる優良農地などの農業資産の保全・活用や自立的な地域づくりに対する意識醸成を図るとともに、もしもの時も多世代が協力しあえる地域コミュニティの意識醸成を促進します。

景観、自然環境・都市環境、安全・安心なまちづくり



結んだ健康交流軸の形成 # 無秩序な開発抑制、農業先進都市としての歴史風景を引き継ぎ、農業経営基盤の強化、集約化を推進する優良農地の保全 # 周辺土地利用との調和